

# 一般の部・題詠 第7回(令和5年度)若山牧水みなかみ紀行短歌大会 入賞・入選一覧

順位	作品	区市町村	投稿者
最優秀賞	わたくしを迎へに橋を渡るたび透きとほりゆく妣の首すぢ	秋田県秋田市	篠田 和香子
優秀賞	点灯の関門橋を見上げつつ壇の浦にてわが家の恋し	群馬県沼田市	田村 鶴江
優秀賞	橋冷えし三月十四日の朝の円周率の小数点以下	東京都杉並区	庭野 治男
選者賞【伊藤一彦選】	橋を渡る月の足音に双峰を敬てて居たり谷川岳は	群馬県沼田市	山崎 杜人
選者賞【伊藤一彦選】	合併で失せてしまひし村の名はわづかに橋にその名とどむる	東京都町田市	谷川 治
選者賞【小島なお選】	霧が降る月夜野大橋その先でS字のインター赤い灯吸い込む	群馬県みなかみ町	本多 寿美枝
選者賞【小島なお選】	夕暮れの電車わずかに重くなりここぞと踏ん張る橋桁の音	宮城県山元町	太田 君江
入選	一つとて同じ橋なしわが町に始まり銚子に至る何百	群馬県みなかみ町	眞庭 義夫
入選	利根川を渡れば仕事の顔となりまた母に戻る橋の不思議	群馬県千代田町	大谷 徳湖
入選	この橋を渡る児童の熊避けと叩かれへこむ缶の在りけり	群馬県みなかみ町	番場 正夫
入選	流木に遊んでおゆきと誘われて冬の川原の木の橋わたる	徳島県阿南市	小畑 定弘
入選	花筏見ようと橋に乗り出せば朽ち木の温み腕に伝い来	東京都杉並区	井芹 純子
入選	黒岩の溪谷沿いの信号は止まれが嬉し白き橋見ゆ	群馬県みなかみ町	奈良 由里子
入選	手を繋ぎ沈下橋より空へ跳ぶ日焼けせし児らの水音高し	奈良県奈良市	堀ノ内 和夫
入選	橋の無き古の恋強かりき荒瀬を徒に涉りゆきしと	群馬県みなかみ町	杉山 久美子
入選	小さくて誰も渡れぬ橋がある わが口中の銀のブリッジ	東京都清瀬市	野原 てい子
入選	下校中橋の真下に浮かぶ瓶誰にも相談できないどもり	山口県光市	松本 進
入選	県境をひらりと跨ぐ大橋を薄目に瓢箪島眠りをり	愛媛県松山市	宇和上 正
入選	虹の橋作る龍神おはすなら猫の帰り来る橋願ひたし	愛知県岡崎市	西村 愛美
入選	逢ふ場所は橋のたもとと決めてみし広瀬河畔にひとりたたずむ	群馬県前橋市	松下 昭代
入選	千曲川に架かれる赤き鉄橋を渡り無言館へといよよ近づく	神奈川県愛川町	富田 茂子
入選	そびえ立つコンクリートの橋脚を下から数え顎が空向く	群馬県高崎市	イマミツ
入選	猿ヶ京関所の跡に佇めば相生橋に牧水見える	群馬県みなかみ町	篠原 香代
入選	街灯がともれば夜の顔となる相生(あひおひ)橋を君と渡りぬ	東京都文京区	原 ナオ
入選	陸橋に立てば二上の山見えて河内六寺は幻の中	大阪府柏原市	田倉 あけみ
入選	鉄橋を渡る貨車の音(ね)数えつつ数II Bの図形を睨む	大阪府河内長野市	木村 嘉子
入選	朝の陽が橋に降るとき老犬と氷像のような会釈を交わす	東京都武蔵野市	北谷 雪

※ 同賞内の順番は投稿順

# 一般の部・自由詠 第7回(令和5年度)若山牧水みなかみ紀行短歌大会 入賞・入選一覧

順位	作品	区市町村	投稿者
最優秀賞	始祖鳥の翔んでた空の色で塗る一年生の運動会の絵	群馬県高崎市	大澤 澄代
優秀賞	地下深く妣の妣へと還りゆく鍾乳石を落ちる水音	群馬県高崎市	佐藤 真理子
優秀賞	目が合っ外した視線は空というプールで息継ぎ忘れて溺れる	岡山県倉敷市	堀 将大
選者賞【伊藤一彦選】	線香花火の火の玉の膨らみて落ちれば心ふぬけになりぬ	愛知県岡崎市	中村 佐世子
選者賞【伊藤一彦選】	行く人も帰る人にも手を上げて今日はそれだけでいい人に会拶	三重県亀山市	岩谷 隆司
選者賞【小島なお選】	死にたいと生きてみたいの行間を読める人から消えていく街	群馬県みなかみ町	どーメキ
選者賞【小島なお選】	冬の枝ためらいもなく陽に伸びてそれができたら続いていた道	埼玉県三郷市	湯島 京子
入選	語尾ひとつ定まらぬままポスト前 高く澄みたる終止形の空	石川県金沢市	橋本 枝折
入選	立葵今年は誰も帰らない風の高さを飛び交ふあきつ	大分県国東市	原 比呂子
入選	笑み交わし人と触れ合うひとときがふと重たいと思う雪の日	秋田県秋田市	蓬田 真弓
入選	晩秋の景より失せし藁塚は古ぼけ黴てわが絵に立つも	山口県宇部市	藤井 重行
入選	米粒が掃除機の中へ吸われゆくあの感触を分かち合う夜	群馬県沼田市	岡本 有未
入選	今と昔母の記憶は入り乱れ今日のあなたは何歳ですか	群馬県みなかみ町	奥村 清美
入選	古希となり卒寿の父のつぶやきが分かり始める夕食の膳	群馬県高崎市	齋藤 宏子
入選	満月のごときケーキを分けながら素数の原理を口にする汝	京都府舞鶴市	新谷 洋子
入選	一度だけ訪れた町みなかみは坪谷にも似て豊かな自然	宮崎県日向市	黒木 金喜
入選	牛舎ごと三十頭の燃えゆきしその声父母やいかに聞きけむ	群馬県千代田町	大谷 光男
入選	ぽつかりと虚空にひとつこの世から浮いてゐる雲私のやうに	青森県八戸市	木立 徹
入選	姉案じ一字一字を拾うよな母の損じた下書き見入る	群馬県沼田市	内山 高重
入選	星と星むすんでできるお話を地球に読んであげている冬	群馬県大泉町	太刀花 紗
入選	ご主人によろしくと恩師電話切る亡き夫(つま)今も生きててくれる	群馬県みなかみ町	ベネット 昭子
入選	切られてるとは気が付かぬ銀杏の木は残った枝に若葉を付ける	徳島県阿南市	坂東 典子
入選	錦秋の丸沼は今日も静かなりもう居ない君と食べた弁当	群馬県みなかみ町	増田 津恵
入選	危ふくも好きに歩ける幸せを今に気付けり父さんごめん	群馬県みなかみ町	眞庭 ヨシ子
入選	休日にまだ早けれど帰り来てスタッドレスタイヤに子は取り換へくるる	群馬県みなかみ町	小林 博子
入選	「どこからも切れます」とある小袋の真実なのは一割未満	東京都小金井市	伊藤 裕司
入選	radikoから流れる声は聞き慣れぬ行きたい街のイントネーション	群馬県片品村	金子 美由紀

※ 同賞内の順番は投稿順

## 高校生以下の部・題詠 第7回(令和5年度)若山牧水みなかみ紀行短歌大会 入賞・入選一覧

順位	作 品	学校名	学年	氏 名
最優秀賞	お駄賃が緑の募金箱に落ち赤かった橋また赤くなる	群馬県高崎商科大学附属高等学校	1年	福島 環
優秀賞	橋だって川下りとかしたくって動きたいだろうにそれなのに僕は	神奈川県立光陵高等学校	1年	山本 未生
優秀賞	橋わたり 水面にうつるは君のかげ 幻想みたい キラキラ光る	群馬県太田市立宝泉中学校	1年	吉川 奈那
特別賞(伊藤一彦選)	虹なんて偽りの橋に過ぎなくて未だに誰かを迷子にさせて	神奈川県立光陵高等学校	1年	洲崎 大知
特別賞(伊藤一彦選)	水が増え川に隠れる沈下橋あるがままの水受け入れている	山口県光市立光井中学校	3年	深田 和志
特別賞(小島なお選)	もうスマホがないと夢さえ追えなくて生きてくための橋の充電	神奈川県立光陵高等学校	1年	鳥野 空音
特別賞(小島なお選)	夢のなかで吊り橋をずっと揺らす君よそんな君に恋はやらない	群馬県高崎商科大学附属高等学校	2年	高崎 明音
入選	ふたりきり怖い怖いと言いながら進める足を止めぬ吊り橋	利根沼田学校組合立利根商業高等学校	3年	飯塚 ひなの
入選	なぞの橋車も人も通れない通ったのは君だけだった	長野県塩尻市立広陵中学校	3年	安江 憲伸
入選	ありがとう たくさん使う じょうぶで 安心できる 月夜野大橋	群馬県みなかみ町立みなかみ中学校	2年	井田 仙太郎
入選	夕暮れに橋から見上げる谷川岳夕日を浴びて化粧をしている	群馬県みなかみ町立みなかみ中学校	2年	服部 陽向
入選	いつも見る 静かに眠ったあの橋は 古くなっても眠ったままで	群馬県みなかみ町立みなかみ中学校	2年	高橋 美空
入選	ありがとう ぼくを見捨てず 導いた 恩師その名は 高橋先生	群馬県立沼田高等学校	1年	金子 拓夢
入選	吹割の橋にかかるは谿紅葉やと来たかと思うこの頃	群馬県立沼田高等学校	1年	井上 詩苑
入選	橋渡り揺れる体と心すら友と楽しむ青春時代	群馬県立沼田高等学校	2年	島田 倫太郎
入選	恋愛の実りゆく様橋のよう 年月を経て徐々に繋がる	群馬県立沼田高等学校	2年	井上 空大
入選	満月の夜の橋でも歩きたい 特別な日になってください	長野県塩尻市立広陵中学校	3年	熊井 聖馬
入選	暑い日に 河に飛び込む 僕たちを 優しく見ている あの眼鏡橋	長野県塩尻市立広陵中学校	3年	中野 正太
入選	橋つくるどんなふうにかかながえるむずかしいけどつくってみたい	長野県塩尻市立塩尻東小学校	4年	堀田 湖花
入選	石の橋 何回たたくと いいのかな まだたたいてると 日がくれたよー	長野県塩尻市立塩尻東小学校	5年	内川 仁奈
入選	橋わたる 真ん中立つて 川を見る 河原で遊ぶ 子どもが好きだ	長野県塩尻市立塩尻東小学校	5年	笠原 優花
入選	わたれない わたりたいのに わたれない まほうの橋は いつか消える	長野県塩尻市立塩尻東小学校	6年	松澤 結愛
入選	一番に橋を渡って偉そうな君をずうっと見ていたかった	神奈川県立光陵高等学校	2年	高間 結
入選	普遍的愛を探して吊り橋へロマノフ朝のような足取り	神奈川県立光陵高等学校	2年	池野 弘葉
入選	石橋を叩き壊していっそもう自分で鉄橋架けるくらいの	神奈川県立光陵高等学校	1年	上田 朱雀
入選	八つ橋の皮から透けるあんころのような愛しさ目指しています	神奈川県立光陵高等学校	1年	佐野 晃太
入選	橋本に怒られたなんて呟いて君のネクタイピンをながめる	学校法人高田学苑高田中学校	3年	櫻井 つむぎ

※ 同賞内の順番は投稿順

# 高校生以下の部・自由詠 第7回(令和5年度)若山牧水みなかみ紀行短歌大会 入賞・入選一覧

順位	作 品	学校名	学年	氏 名
最優秀賞	新月は昔の私をかくしてくれる 明日の私は前とはちがう	長野県塩尻市立広陵中学校	3年	平島 彩桜
優秀賞	ふきあれる心のようなおもて表紙 論理国語のはやてのごとく	群馬県立沼田高等学校	2年	井上 千尋有
優秀賞	トランポリンの張力を夏の水よ持て足の着水するまでが空	群馬県高崎商科大学附属高等学校	2年	植原 愛佳
特別賞(伊藤一彦選)	白い山 キラキラ光る 粉雪で気づいたときには 雪だらけの僕	群馬県太田市立宝泉中学校	2年	三田 遼琥
特別賞(伊藤一彦選)	ガーリックフランスのよう君を思う 歯磨きしてもにおいは消えぬ	クラーク記念国際高等学校	3年	横溝 惺哉
特別賞(小島なお選)	化粧する姉を鏡越しに見つつ月の所在を感じていた日	学校法人名古屋学院名古屋高等学校	1年	福田 匠翔
特別賞(小島なお選)	言葉として残せばきっと蘇る授業終わりの小さなあくび	神奈川県立光陵高等学校	1年	猪野田 涼奈
入選	社会科を マスターしよう 刀狩り 参勤交代 よし休憩	群馬県みなかみ町立みなかみ中学校	2年	馬場 亜優奈
入選	エモいとはエモーショナルと異なりて閃光に眼を閉じたる心	群馬県高崎商科大学附属高等学校	2年	高橋 健太郎
入選	思い出は みんなでつくる カッターや 係の仕事 自分から動く	群馬県太田市立宝泉中学校	1年	鈴木 健太
入選	ラケットを ヘシ折る力 作るため 筋トレをする 夏休み	群馬県太田市立宝泉中学校	1年	佐々木 凜人
入選	花の王 その名もぼたん でも私は 部活の王の 夏休み	群馬県太田市立宝泉中学校	1年	深津 蒼奈
入選	久しぶり地域の祭り雨で流れ抽選会でくじひくかかり	埼玉県深谷市立藤沢小学校	5年	柴崎 亮多
入選	果樹園からほのかにかおるオレンジが全てオレンジ色にかがやいている	群馬県太田市立宝泉中学校	2年	根岸 悠登
入選	ヒット打ち馬になりきり走りだす目指すは三つ前のホームベース	群馬県太田市立宝泉中学校	2年	三吉 れあ
入選	人のむれ くろき頭が さまようなか きょうもさがすよ うんめいの人	群馬県太田市立宝泉中学校	2年	竹政 琉稀
入選	風景画わざとちがった色にする自由に描いて表現する	群馬県太田市立宝泉中学校	2年	岩崎 莉里愛
入選	逃げまわる 今日が終わればもう平気一匹で走るお祭りの夜	群馬県太田市立宝泉中学校	2年	森田 絆奈
入選	「本屋って住めないかしら」「かんたんよあなたが本屋になればいいのよ」	群馬県みなかみ町立みなかみ中学校	2年	坂大 穂典
入選	じゃあまたと赤じそ色に秋の空にみんなの木星やさしさ残る	群馬県立沼田高等学校	1年	町田 翔人
入選	パーカーのチャックに絡まる赤い糸まだ断ち切れない君への想い	群馬県立沼田高等学校	2年	茂木 健太郎
入選	自転車通河岸段丘の四季感じ風をあびつつ今日もペダルふむ	群馬県立沼田高等学校	2年	星野 平帆
入選	白球を追いつけてたあの頃の過ぎゆく時間は何に変わるか	群馬県立沼田高等学校	2年	藤井 来夢
入選	木が踊り校舎から見る赤城山は どの植物よりも大きく立つ	群馬県立沼田高等学校	2年	山崎 伶音
入選	蛙の子、鷹の子受験会場の僕はまだ蝌蚪、隣は鳶	群馬県高崎商科大学附属高等学校	2年	今井 沙羅
入選	傘を巻き待ってる君に黄色い線だけを辿って逢う上野駅	群馬県高崎商科大学附属高等学校	2年	園田 愛美
入選	絵のようなグラデーションの景色かなゼリーのよう青春が来る	利根沼田学校組合立利根商業高等学校	3年	小野 つゆき

※ 同賞内の順番は投稿順